

秋田地域留学生等交流推進会議

事業名	する・聞く・語る秋田の農業 in 西木町			
実施期間	平成23年10月15日～16日, 11月12日			
場所	秋田県仙北市西木町			
参加者	外国人留学生	地域住民・企業等	その他	合計
	37名	12名	11名	のべ60名

<実施内容>

秋田地域留学生等交流推進会議では、「する・聞く・語る秋田の農業 in 西木町」と題し、秋田県仙北市西木町において3度目となる、秋田県内の留学生や日本人学生と地域農家の方々とがグリーン・ツーリズムを通じて交流を深めました。



10月農業体験ツアー(かたくり館前にて)

10月15日、16日の「農業体験ツアー」では農業体験と農家民泊を実施しました。参加者はきりたんぼ作り、豆腐作り、栗拾い、栗の選別、ほうれん草収穫、障子張りなど各農家でさまざまな農作業・料理作りを体験しました。参加した留学生の中には今年8月や10月に秋田に来たばかりの留学生も多数参加しており、日本の田舎での暮らしに驚きの連発だったようです。初めて食べるお餅やきりたんぼ、ゆべしをみんな美味しそうに食べている姿が印象的でした。農業体験ツアー二日目の「農家の方と語る会パート1-秋田の農業の魅力と苦勞-」では、農業についてのたくさんの質問を農家方にしており、日本の農業や農家の暮らしに興味津々といった感じが見受けられました。

11月12日の「収穫感謝祭ツアー」では、各グループでアルバム作成を行うとともに、餅つき体験やもちを使った料理の手伝い等も行い、昼食をいただきながらの交流会を行いました。昼食後は「農家の方と語る会パート2-留学生と秋田の農業-」を行い、そこで農家の方から聞いた事をもとに“留学生は秋田の農業にいかに関与できるか”というテーマでそれぞれ日本語と外国語でポスターにまとめました。各グループの意見を参加者全員で共有し、お世話になった各農家方へ心のこもったオリジナルのアルバムをプレゼントし、農家の方もみんな「宝物が一つ増えた」と、とても嬉しそうにアルバムを受け取ってくれました。

<参加者からのコメント>

梁 信愛さん(韓国)/YANG SIN AE

いろいろな経験ができて本当に嬉しかったです。一緒に料理を作って食べたり、話し合ったりしてのが一番印象に残っています。そして皆と一緒にきりたんぼを作って食べたこともよかったです。夜遅い時間に外に出て星空を見ながら他の国の友達と話し合ったこと、暖かい部屋でゲームに夢中になって遊んでたことまで全部楽しい思い出に残っています。また機会があったら是非参加したいです。いい経験でした。

エルデネバット ウヌボルドさん(モンゴル)/UNUBOLD ERDENEBAT

秋田の農業を体験するために皆と一緒に仙北市へ行ったのですが、非常に有意義な時間を過ごしたのではないかと思います。我々のグループは、民宿「のどか」に泊まり、農家の方々の日常生活行動を目で見たり、自ら体験したりさせてもらいました。その中で、農家のケイコさんが男にも難しそうな仕事を、今までずっとやってきたのを聞いたり、日々の努力を感じたりして本当に敬愛しました。日本国民はなぜ強いのがここで分かり、日本の 特に秋田の農業文化、食事文化に興味を持てるようになりました。また、今回「する・聞く・語る秋田の農業 in 西木町」に参加して、多くの外国人や日本人の友達ができたとうれしく思います。皆、どうもありがとうございました。機械があれば、今度もぜひ参加させていただきたいです。よろしくお願い致します。